

「子どもにやさしい空間」研修

(CFS : Child Friendly Space)

主催：児童家庭支援センターみなと

2017年10月4日(水) 10:00-13:00 (定員30名)

会場 聖母愛児園 地域交流ホール 受講費:無料

災害時に避難所となる地域の施設や学校。
そうした場所がかかせないのは、災害子ども支援において
子どもの心身の回復・日常生活を取り戻すための「子どもにやさしい空間」です。
その考え方や設置・運営の具体的な方法、
を実践的に学びませんか？

災害や事故。

子どもたちは一瞬にして「日常」という支えを失います。

そのような時、私たち大人は子どものために何ができるでしょうか。

2011年の東日本大震災以降、災害時の子どもの支援として日本でも普及が広がっている「子どもにやさしい空間」をより深く学びたいという声にお応えし、子どもにやさしい空間の理念と、具体的な設置・運営の際に大切なことを学ぶ研修会を行います。



©UNICEF/2011/N.Imoto

災害が起きたら、私たちの地域でどんなふうに空間を作ればいいのか？

子どもに安心/安全を与える具体的な遊びや関わりとは？



世界で、日本で実際にどんな空間作りがなされてきたの？課題は何？

研修は、「子どもにやさしい空間」ガイドブックに基づいて提供されます。
ガイドブックはHPからダウンロードできます。
<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/pdf/cfs.pdf>

《プログラム》

『子どもにやさしい空間』研修 10:00-13:00

1. 「子どもにやさしい空間」とは？【講義とディスカッション】
2. 「子どもにやさしい空間」の実践Ⅰ【講義とディスカッション】
どんな時に必要なの？／緊急時の子どもたちの状況は？／どうして必要なの？／
「子どもにやさしい空間」ってどういうもの？／どう役立つの？／6つの大切なこと
3. 「子どもにやさしい空間」～実際に作ってみよう【グループワーク】
子どもたちの状況を把握しよう／活動内容を組み立てよう／場所や設備を考えよう
4. 「子どもにやさしい空間」の実践Ⅱ【講義とディスカッション】
人員配置を考えよう／活動を振り返り改善しよう

<講師>

本田涼子：災害時こどものこころと居場所サポート代表・日本プレイセラピー協会理事・臨床心理士
谷杉佐奈美：神奈川県ユニセフ協会事務局長

研修申込み及びお問い合わせ先

お名前、所属先、メールアドレスを下記宛てにお送りください。

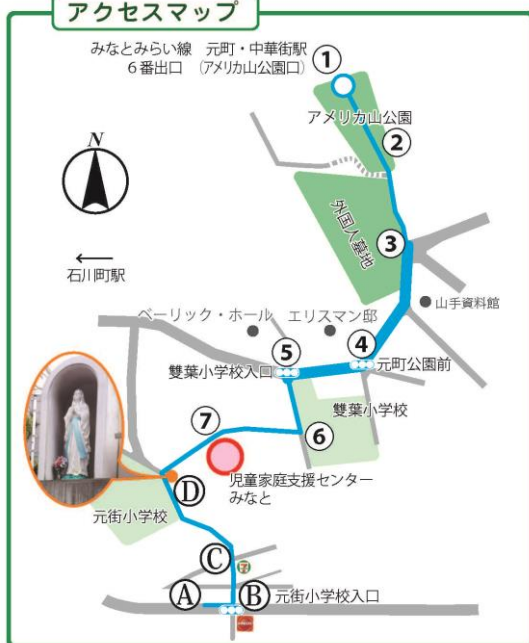
児童家庭支援センターみなと

メール：minato-sa@seiboaijien.com

電話：045-663-2759 FAX：045-663-2704

(※FAXの場合、下の通信欄に記入の上、本用紙をお送りください)

アクセスマップ



主要アクセス

- *みなとみらい線「元町・中華街」駅より徒歩 15分
- *JR線「石川町」駅より徒歩 15分
- *市営バス 105 系統「上野町」バス停より徒歩 15分

▷みなとみらい線元町・中華街駅より
「6番出口」を出て、「アメリカ山公園」を「外国人墓地」方面へ直進。道なりに進む（左地図①～⑤）。「雙葉小学校入口交差点」を「雙葉小学校」方面へ渡り、小道をそのまま直進。一つ目の角を右に曲がり、坂を下る（⑥）。左手の「聖母愛児園」の中に入り、奥へと進む（⑦）。

FAX 通信欄

お名前： _____

所属先： _____

メールアドレス： _____